

1. 投稿資格

筆頭執筆者及び corresponding author は、本協会会員とする（第一種会員所属大学の教職員・学生を含む）。ただし、依頼原稿（特集論文等）の場合は会員以外でも可とする。

2. 内容

編集は時候にあった特集テーマを定め、特集論文の寄稿を募る。一般投稿論文として、健康管理、医療、教育などに関する原著論文および総説、症例報告、サマリー、所感、トピックス、行事予定・報告、各学会・分野の動向・紹介、追想文、追悼文、健康相談、書評などとする。原著論文、症例報告については未掲載のものとし、二重投稿は禁ずる。

3. 論文の受付・受理および掲載

- 1) 原稿は、本協会ホームページにある投稿用フォーマットを使用し、図表、グラフ等もフォーマット中に入力されたもののみ受け付けるものとする。電子原稿を本協会事務局にメールにて添付送信すること。投稿規定の「チェックリスト」にチェック、責任者署名を付し、「承諾確認書」に著者全員の署名を付し、「COI自己申告書」に署名の上、原稿送付時に同送すること。なお、特集論文と原著論文の投稿用フォーマット、チェックリストは異なるので、注意すること。
- 2) 対象者などに文書または口頭で同意を得たもの、および著者の所属機関の倫理委員会の承認を得たものは、その旨を方法のところに明記すること。また症例報告については別に定めたガイドラインに従うこと。症例報告では症例報告同意書を提出すること。
- 3) 論文掲載の採否は2名以上の査読者の審査結果に基づき編集委員会が決定する。
- 4) 査読者は本会の会員大学の保健管理施設教員および推薦された専門の教員・研究者の中から編集委員会が選定する。
- 5) 論文掲載の採択が本協会から通知されたら、最終原稿を事務局に送付すること。
- 6) 本誌ならびに本協会の採択するインターネットホームページ上に掲載した論文の著作権は本協会に所属する。
- 7) 本誌に掲載した論文の無断転載を禁ずる。

4. 論文の形式

《原著論文》 原則として「要旨」600字以内、「キーワード」5語以内、「はじめに」、「対象と方法」、「結果」、「考察」、「結語」、「文献」の順に記載すること。

英文抄録には「表題」、「著者名」（肩書は不要）、「所属および所在地」、「Keywords」（日本語のキーワードに対応する英語）、「Abstract」200語以内をこの順に記載すること。

英文抄録は native speaker によるチェック、もしくはそれに準ずるチェックを受けること。

《特集論文》 原著論文に準ずるが、「要旨」、「キーワード」、英文抄録は不要。

《症例報告》 原則として「要旨」600字以内、「キーワード」5語以内、「はじめに」、「症例」、「考察」、「結語」、「文献」の順に記載すること。

英文抄録には「表題」、「著者名」（肩書は不要）「所属および所在地」、「Keywords」（日本語のキーワードに対応する英語）、「Abstract」200語以内をこの順に記載すること。

英文抄録は native speaker によるチェック、もしくはそれに準ずるチェックを受けること。

《原著論文、特集論文、症例報告 以外の論文》 特に形式を定めない。

5. 論文記載の順序・形式

原則として刷り上がり 6 頁以内とする。

協会ホームページにある投稿用テンプレートを使用し、本文、図表、文献、等を含めた全体で 6 頁以内とすること。

《表紙》 表題、著者名、ランニングタイトル(25 字以内)を記し、下段に所属および所在地、筆頭執筆者または corresponding author の連絡先住所・電話番号・FAX 番号・電子メールアドレスを記すること。

《章、節などの区分》 原則として、右のような形式で記述のこと。【I・II・III・A・B・C・1.2.3・a.b.c】

《略語》 略語については、本文中の最初に出たところでフルネームを入れる。専門用語の解説についても同様とする。

《文献》 文献は、引用箇所の右肩に上付きで 1)、2) のように引用順に番号で示し、原稿末尾に下記の形式で番号順にまとめて記載すること。文献数は 20 件以内とする。雑誌の略号は INDEX MEDICUS の表記に従い、それにはないものはフルネームで記載する。

著者は 3 名までとし、それ以上の場合は以降を省略し、英文では「et al.」、和文では「他」を付する。

(雑誌の場合) 執筆者名. 論文名. 雑誌名 発行年; 巻数: 引用開始頁-終了頁.

Alessandrini P, McRae J, Feman S, et al. Thromboxane biosynthesis and platelet function in type I diabetes mellitus. N Engl J Med 1988;319:208-212.

今井草二, 遠藤真弘. 先天性冠動脈疾患. 呼吸と循環 1973;21:397-409.

(単行本の場合) 著者名. 論文名. In: 書名. 編集者名. 出版社名; 所在地: 発行年.p.引用開始頁-終了頁.

Abboud CN, Lichtman MA. Structure of the marrow and the hematopoietic microenvironment. In: Williams Hematology 6th ed. edited by Beutler E, Lichtman MA, Coller BS, et al. McGraw- Hill; New York; 2001.p.29-58.

白鳥康史, 小俣政男. ウイルス性慢性肝炎. In: 内科学 第 6 版. 杉本恒明, 小俣政男編. 朝倉書店; 東京; 1995.p.1036-1039.

ウェブサイトは引用文献とせず、資料として本文中に以下の要領で挿入すること。

(タイトル、URL、掲載確認日)

《図(写真)、表》 図、表、写真はそのまま印刷できる鮮明なものに限る。挿入箇所を明瞭に原稿欄外に指示すること。

6. 校正

- 1) 著者の校正は初校 1 回のみとし、以降は編集委員会において行う。原稿の変更は初校時までとし、軽微にとどめること。
- 2) 正誤表は、刷り上りの論文が著者の校正と異なる場合のみ、これを作成する。

7. 別刷り

別刷り作成は、特別に用意しない。

8. 原稿の提出

原稿はメールに添付のうえ事務局アドレスに送信し、提出締切は毎年 12 月 31 日(必着)までとする。

投稿された原稿は原則として返却しない。 原稿提出先) staff@health-uv.jp

機関誌「CAMPUS HEALTH」 特集論文チェックリスト

投稿前に以下の点をチェックの上、原稿をお送りください。

- 論文は他誌に未掲載であるか？
- 原稿は、本協会ホームページにある投稿用テンプレートを使用したか？
- 図表、グラフ等も投稿用フォーマット中に入力されているか？
- 投稿規定の「承諾確認書」に著者全員の署名を付し同封したか？
- 症例の記述に際しては、匿名性に配慮したか？
- 本文、図表、文献、などを含め、全体で6頁以内になっているか？

《表紙》

- 表題、著者名、ランニングタイトル（25字以内）を記したか？
- 下段に所属および所在地、筆頭執筆者またはcorresponding authorの連絡先住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを記したか？

《章、節などの区分》

- 次の原則に従っているか？ **【I. II. III・A. B. C・1. 2. 3・a. b. c】**

《略語》

- 略語については、本文中の最初に出たところでフルネームを入れたか？（専門用語の解説についても同様とする。）

《文献》

- 以下の決まりを守っているか？
 - ・引用箇所の右肩に上付きで、1)、2)のように引用順に番号で示し、原稿末尾に下記の形式で番号順にまとめて記載すること。文献数は20件以内とする。雑誌の略号はINDEX MEDICUSの表記に従い、それがないものはフルネームで記載する。
 - ・著者は3名までとし、それ以上の場合は以降を省略し、英文では「et al.」、和文では「他」を付する。
 - ・原則として、インターネットホームページは文献として認めない。

《図（写真）、表》

- 以下の決まりを守っているか？
 - ・図、表、写真はそのまま印刷できる鮮明なものに限り、挿入箇所を明瞭に原稿欄外に指示する。

責任著者（自署） _____

日 付（西暦） _____

機関誌「CAMPUS HEALTH」 原著論文チェックリスト

投稿前に以下の点をチェックの上、原稿をお送りください。

- 筆頭執筆者及び corresponding author は、本協会会員であるか？（第一種会員所属大学の教職員・学生を含む）（依頼原稿の場合は会員以外でも可）。
- 原著は他誌に未掲載であるか？
- 原稿は、本協会ホームページにある投稿用フォーマットを使用したか？
- 図表、グラフ等も投稿用フォーマット中に入力されているか？
- 投稿規定の「承諾確認書」に著者全員の署名を付し同封したか？
- 研究対象者に文書または口頭で同意を得たか？
- 著者の所属機関の倫理委員会の承認を得た研究に関して、その旨を「方法」に明記したか？
- 症例の記述に際しては、匿名性に配慮したか？

《原著論文に関して》

- 「要旨」（600字以内）を付け加えたか？
- 「キーワード」5語以内を付け加えたか？
- 構成を「はじめに」、「対象と方法」、「結果」、「考察」、「結語」、「文献」の順に配置したか？
- 論文は投稿用テンプレートを使用して、本文、図表、文献、英文抄録などを含め、全体で6頁以内になっているか？

《英文抄録》

- 「表題」、「著者名」を付けたか？
- 「所属および所在地」を記載したか？
- 「Keywords」（日本語のキーワードに対応する英語）を付けたか？
- 英文抄録は200語以内となっているか？
- Native speaker等による英文校正を受けたか？

《表紙》

- 表題、著者名、ランニングタイトル（25字以内）を記したか？
- 下段に所属および所在地、筆頭執筆者またはcorresponding authorの連絡先住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを記したか？

《章、節などの区分》

- 次の原則に従っているか？ 【I. II. III・A. B. C・1. 2. 3・a. b. c】

《略語》

- 略語については、本文中の最初に出たところでフルネームを入れたか？（専門用語の解説についても同様とする。）

《文献》

- 以下の決まりを守っているか？
 - ・引用箇所の右肩に上付きで、1)、2)のように引用順に番号で示し、原稿末尾に下記の形式で番号順にまとめて記載すること。文献数は20件以内とする。雑誌の略号はINDEX MEDICUSの表記に従い、それがないものはフルネームで記載する。
 - ・著者は3名までとし、それ以上の場合は以降を省略し、英文では「et al.」、和文では「他」を付する。
 - ・原則として、インターネットホームページは文献として認めない。

《図（写真）、表》

- 以下の決まりを守っているか？
 - ・図、表、写真はそのまま印刷できる鮮明なものに限り、挿入箇所を明瞭に原稿欄外に指示する。

責任著者（自署） _____

日 付（西暦） _____

機関誌「CAMPUS HEALTH」 承諾確認書

公益社団法人全国大学保健管理協会機関誌「CAMPUS HEALTH 59(2)」に

特集 原著 短報 報告 症例報告 その他 ()

タイトル _____

を投稿し、掲載された論文の著作権はすべて公益社団法人全国大学保健管理協会に所属することを承諾いたします。なお、他誌に掲載または投稿中ではありません。

(筆頭者)

氏名 (自署) _____

所 属 名 _____

日付 (西暦) _____

上記の件につき、同意いたします。

(共著者)

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

氏名 (自署) _____

機関誌「CAMPUS HEALTH」

症例報告を含む投稿論文におけるプライバシー保護に関するガイドライン

2020年6月25日

機関誌「CAMPUS HEALTH」は、会員の知識や技能の向上のために、特集論文ならび一般投稿論文を公開してきたが、さらに会員間で有用な情報を共有するためには、症例報告の投稿を受け付けることが必要であると考えに至った。しかし、症例報告においては、個人を特定しうるような情報が公開されることは慎まなくてはならず、また対象者に十分な説明と同意のプロセスを経たうえで、公開する必要がある。そのため、編集委員会で審議の上、ガイドラインを設けることになった。以下の条件を満たした症例報告を、本誌の査読の対象とする。

1. プライバシーの保護

個人の情報は、症例報告の意義を損ねない範囲で、できる限り個人が特定されないよう、プライバシーを保護しなければならない。

- (1) 個人を特定可能な氏名、イニシャルまたは「呼び名」は記載しない。
- (2) 生活史に関連する固有名詞はアルファベットを用いる（A市、B大学など）。
- (3) 特に必要がない場合は、実年齢は記載せず、〇歳代等と表示する。
- (4) 臨床経過を知る上で必要な場合は、個人が特定できないと判断される場合は月日を記載してよい。年については、発表者の関わり開始をX年とし、X+1年、X+2年といった記載を用いる。
- (5) 顔写真を提示する際には目を隠す等、個人を特定できないように配慮する。

2. 説明と同意

症例報告を行う場合には、本誌の「症例報告への同意書」を用い、症例報告の対象となる個人に対し、症例報告の目的・意義、発表する内容とその方法を、本人が理解できるように十分に説明した上で、同意を得なければならない。この場合に、同意しないことにより不利益を受けないこと、同意撤回の自由についても説明すること。なお、未成年者は、親権者や法定代理人等から同意を得る必要がある。

症例報告にあたり、施設の長などの責任者の同意を得ること。

機関誌「CAMPUS HEALTH」における症例報告への同意書

投稿にあたり、「症例報告」として論文執筆することについて、対象者（代諾者）および当該施設の長（または部門の責任者）に対する十分な説明を行って同意を得るとともに、以下のことを相互に理解しました。

- 「症例報告」は、大学保健に関わる者の知識、技能向上をはかり、学生や教職員の保健管理や公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。
- 「症例報告」は、公益社団法人全国大学保健管理協会のホームページ上にPDFとして公開される。
- プライバシーの保護には十分注意して、個人が特定できないように配慮すること。

説明者（自署） _____

(対象者)

私は機関誌「CAMPUS HEALTH」における症例報告として、私個人に関する情報が上記の条件を満たすことにおいて、掲載され一般に公開されることに同意します。

本人（自署） _____

代諾者（自署） _____

日付（西暦） _____

(施設の長・部門責任者)

私は機関誌「CAMPUS HEALTH」に、説明者が当施設の記録をもとに対象者の情報を「症例報告」として投稿することに同意します。

本人（自署） _____

日付（西暦） _____

機関誌「CAMPUS HEALTH」 著者COI 申告書

論文タイトル _____

- ・ 著者全員がそれぞれ1枚ずつ記入すること
- ・ 親族とは、生計を一にする配偶者および一親等の親族

項目	有無の記載	対象者	有の場合、企業名などの記載
1 大学等における保健管理に関する業務および教育・研究活動に関して利害関係のある事業者等（以下、「関係事業者等」という。）の役員等へ就任し、一事業者あたり直近の3カ年のいずれかの年において年額100万円以上を得ている。	有・無	本人 ・ 親族	
2 関係事業者等の株式もしくは経営参画権を保有し、一事業者あたり直近の3カ年のいずれかの年において利益として年額100万円以上を得、もしくは所有として当該全株式の5%相当以上を保有している。	有・無	本人 ・ 親族	
3 関係事業者等が支払う給与、報酬、もしくは料金の受領が一事業者あたり直近の3カ年のいずれかの年において年額50万円以上である。	有・無	本人 ・ 親族	
4 関係事業者等が供与する労務の受領が一事業者あたり直近の3カ年のいずれかの年において年額50万円相当以上の場合。	有・無	本人 ・ 親族	
5 関係事業者等が寄付する金銭もしくは物品の受領が一事業者あたり直近の3カ年のいずれかの年において年額50万円以上の場合。	有・無	本人 ・ 親族	
6 関係事業者等が対象者の所属する機関に寄付する金銭、物品、もしくは機関内組織の優先的利用権の確保が一事業者あたり直近の3カ年のいずれかの年において年額100万円相当以上の場合。	有・無	本人 ・ 親族	
7 関係事業者等からのその他の便宜供与の受領が一事業者あたり直近の3カ年のいずれかの年において年額50万円相当以上の場合。	有・無	本人 ・ 親族	

本人（自署） _____

日付（西暦） _____